

農業人口増やす方策は



農業は地味で、高齢者が行っているイメージが強い。

若い人はあまりいないと思っていたが、これほどまでに農業人口が減っているとは知りませんでした。記事には、スマート農業実験に自動運転のトラクターや田植え機が使われていると書かれ

【小浜】スマート農業実験本格化

スマート農業の実験が本格化している。スマート農業とは、ICT（情報通信技術）を活用して、農業の生産性を向上させること。自動運転のトラクターや田植え機など、省力化・効率化を実現する。小浜市では、スマート農業の実験が本格化している。スマート農業とは、ICT（情報通信技術）を活用して、農業の生産性を向上させること。自動運転のトラクターや田植え機など、省力化・効率化を実現する。小浜市では、スマート農業の実験が本格化している。

スマート農業の実験が本格化している。スマート農業とは、ICT（情報通信技術）を活用して、農業の生産性を向上させること。自動運転のトラクターや田植え機など、省力化・効率化を実現する。小浜市では、スマート農業の実験が本格化している。

収量増、効率化に期待
人手不足や高齢化対応



おばた はるひさ 小畑 晴尚さん(越廼中3年)

ており、人手不足を補つにはとても良いと思いました。農作物は毎年同じ量を収穫できず、気候によって毎日手入れをしないといけないなど、たくさんの苦勞がある。週休二日が安定すれば、農業をやってみたいと思う人が増えて良いと思います。今回の記事を読んで、僕はもっと効率よく農作業する方法があるのではないかと考えました。例えば、会社近くに田や畑をつくって、毎日一人ずつ見回ることが考えられます。このように、自動化する前に、人手を増やして農業を発展させることが可能ではないかと考えました。

4月14日付(23面)

